



2012年4月吉日

「パイクスピーク EV チャレンジ実行委員会」
実行委員長
福武 総一郎
(電気自動車普及協議会 会長)
(株式会社ベネッセホールディングス 取締役会長)

田嶋 伸博
(電気自動車普及協議会 代表幹事)
(株式会社タジマモーターコーポレーション 代表取締役会長 兼 社長)

2012 Team APEV with モンスタースポーツ パイクスピーク EV チャレンジ ご協賛のお願い

拝啓 時下、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、電気自動車普及協議会(以下 APEV)の代表幹事である田嶋伸博が、自身で目下六連勝を果たしている「パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム」の自動車競技において2012年7月、初めて電気自動車(以下 EV)での参戦を行うこととなりました。

現在、地球規模で問題となっている温暖化現象、また異常気象に伴う災害の頻発など、地球環境の悪化が深刻さの度合いを増していることは皆様も御承知のとおりです。

これに対して、日本の先端技術を結集して究極の EV を開発し、アメリカ・ロッキー山脈に連なる世界の
大舞台で、勝利をつかむべくチャレンジする姿は、多くの人々に共感と感動を与えることでしょう。

我々「パイクスピークEVチャレンジ実行委員会」では、単にEVで世界的に有名な自動車レースに参戦する田嶋を応援するのではなく、これを「Team APEV with モンスタースポーツ」のプロジェクトとして、次の5つの活動を実行いたします。

①パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム参加

日本の技術を結集して究極の EV を開発し、世界最高峰の舞台で大出力のエンジンカーにチャレンジすることで、EVの優秀性を証明します。また、この活動から得られた技術でEVの普及を促進することこそが、このレース参加の最終目的となります。

②環境プロジェクト

EV でエンジン車に対してチャレンジをすることで、地球温暖化対策をアピールしながら EV の持つ可能性を立証します。特に今回エンジン車で 6 連覇した、ワールドチャンピオン自らが EV を開発し、自身のエンジンカーの世界記録に挑戦することで、EV 時代の到来を世界中に強烈にアピールします。

③ジュニアプロジェクト

子どもたちに夢を届けると同時に、エンジンカーでは不可能な EV の素晴らしさや、車の楽しさを学んでもらえる機会を作ります。子どもが興味を持ちやすいような企画(ゲームなども検討)を充実させます。

④シニアプロジェクト

今年 62 歳になる田嶋伸博が、元気に世界に挑み続ける姿を伝えることをきっかけに、日本の 60 歳代以上の方々にも更に生きがいや元気、勇気を持ってもらうことを目的とします。還暦を過ぎた同世代の皆さんに、夢と希望を与える各種の企画を実施して、元気な日本を取り戻します。

⑤被災地支援プロジェクト

東北地方の震災被災者の方々と一緒に世界一にチャレンジすることで、夢と自信を届けたいと考えています。復興に必要な「頑張る気持ち、助け合いや思いやり」などを一緒にのせてレースを走ることができる企画を提供します。また被災地ならではの経験を活かした、安全で安心して暮らせるスマートハウス、スマートシティ作りを研究します。そして、その中で必要となる次世代型 EV を、究極の競技車両を作った我々の最新の EV 技術と融合させることで速やかに実現させていきます。

この、かつてない壮大なプロジェクトのチーム総監督は、APEV 会長の福武総一郎が務めます。

また、NTN 株式会社代表取締役会長 鈴木 泰信氏も、応援団長としてご参加下さることになりました。

日本のビジネスの第一線で御活躍の皆様にも是非ともご参加、ご協賛を頂きたく、ここにお願いする次第です。

【 ご協賛方式について 】

■企業スポンサー

ダイヤモンドスポンサー	1 口 1,000 万円
プラチナスポンサー	1 口 500 万円
ゴールドスポンサー	1 口 100 万円

■個人スポンサー

1口 10,000円（口数の上限は特に設けておりません）

【お振込先】（パイクスピークイーブイチャレンジジッコウインカイ）

口座名： パイクスピークEVチャレンジ実行委員会

三井住友銀行 ときわ台支店 普通 6936374

敬 具

お問い合わせ先:

パイクスピークEVチャレンジ実行委員会

事務局長 椎木 衛（シイキ マモル） 事務局 石倉 智之（イシクラ トモユキ） 田中 郁子（タナカ イクコ）

〒160-0023 新宿区西新宿 6-10-1 日土地西新宿ビル 8F 電気自動車普及協議会内

電話: 03-5325-3365 FAX: 03-5325-3366 E-mail: info@apev.jp

<パイクスピーク EV チャレンジ実行委員会>

・実行委員会構成団体

電気自動車普及協議会

株式会社タジマモーターコーポレーション

・実行委員長

福武総一郎(電気自動車普及協議会 会長)

・実行委員 ※2012年2月27日現在

田嶋伸博 (電気自動車普及協議会 代表幹事)

草加浩平 (" 幹事)

藤原洋 (" 幹事)

鈴木高宏 (" アドバイザー)

・事務局長

椎木衛 (電気自動車普及協議会 事務局長)

・事務局員

石倉智之 (株式会社タジマモーターコーポレーション 広報グループ課長)

田中郁子 (電気自動車普及協議会 事務局次長)

【チームロゴ】



<ご参考>

パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライムとは



自動車が生みだされて間もない1897年、フランスのニース郊外の丘を舞台に、記録に残る限りでははじめての自動車による山登り競争「ヒルクライム」が開催された。

ヒルクライムは、最も古くからあるモータースポーツの1つの種目である。

山頂を目指し、ドライバーが己のマシンを駆ってひた走るこの競技は、シンプルで荒削りにさえ見えるが、それゆえに人を惹きつける魅力がある。山を駆け上るというその競技の性質上、レースの舞台は見晴らしのよいロケーションであることが多く、また、普段公道として使用されている道路であることもあり、高度な競争の場でありながら、独特のアットホームな雰囲気を持っている。それもまた、競技者やファンを捉える要素なのだろう。日本ではあまりポピュラーではないが、欧米には大きなイベントも多く、熱心なファンを擁している。

世界で一番大規模で有名なヒルクライムイベントは、アメリカのコロラド州、パイクスピークの観光道路を舞台に開催されるパイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム―通称 The Race to the Clouds (ザ・レース・トゥ・ザ・クラウドズ)―である。1916年に創始されたこのイベントは途中第二次世界大戦による中断などをはさみながらも世界各地から挑戦者を集め、最も注目されるヒルクライムイベントに成長した。

今や、1911年から始まるインディ500に次いで、単一シリーズとしては世界で2番目の歴史と伝統を誇るにいたっている。

参加者達は、標高4300mのゴール地点に向かって、約20kmのコースをひたすら駆け登る。スタートとゴールでの高低差は実に1400mを超え、コーナーの数は156を数える。これまで、ラリーチャンピオンなど国際的に著名なドライバーが多数このイベントに挑戦してきた。スタート地点からは見えないゴールを目指して、厳しい高地特有の天候や滑りやすい路面に挑戦してきた彼らの真の相手は、過去樹立された記録でも他の競技者でもなく、パイクスピークという頂そのものなのだ。



田嶋 伸博
(たじま のぶひろ)

1950年6月28日生
石川県出身／東京都在住

株式会社タジマモーターコーポレーション
代表取締役 会長兼社長兼CEO

株式会社アイアールディー
代表取締役会長

電気自動車普及協議会(APEV) 代表幹事

磐田新産業創出協議会 理事

JEVRA 日本電気自動車レース協会 理事

チームモンスター会長

田嶋 伸博 ヒルクライム戦績

パイクスピーク・インターナショナル・ヒルクライム (アメリカ コロラド州)

■ 1988年	ショールームストックDiv.	クラス3位	---
■ 1989年	アンリミテッドDiv.	DNF	---
■ 1990年	オープンラリーDiv.	DNS	---
■ 1991年	PPオープンDiv.	3位	12分34秒51
■ 1992年	アンリミテッドDiv.	クラス優勝	12分51秒63
■ 1993年	アンリミテッドDiv.	クラス優勝/総合2位	10分44秒22
■ 1994年	アンリミテッドDiv.	クラス2位/総合5位	10分51秒15
■ 1995年	アンリミテッドDiv.	総合優勝	7分53秒00※
天候不順のためコース短縮			
■ 1996年	アンリミテッドDiv.	クラス2位/総合2位	10分21秒88
■ 1997年	アンリミテッドDiv.	DNF	---
■ 1998年	アンリミテッドDiv.	クラス2位/総合2位	10分32秒57
■ 1999年	アンリミテッドDiv.	クラス2位/総合2位	10分37秒35
■ 2000年	PPオープンDiv.	DNF	---
■ 2001年	アンリミテッドDiv.	DNF	---
■ 2006年	アンリミテッドDiv.	総合優勝	7分38秒※
天候不順のためコース短縮			
■ 2007年	アンリミテッドDiv.	総合優勝	10分01秒408
世界新記録樹立			
■ 2008年	アンリミテッドDiv.	総合優勝	10分18秒250
■ 2009年	アンリミテッドDiv.	総合優勝	10分15秒368
■ 2010年	アンリミテッドDiv.	総合優勝	10分11秒490
■ 2011年	アンリミテッドDiv.	総合優勝	9分51秒278
世界新記録樹立			